

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 001	提案機関名	水・緑部自然環境保全課		
要望問題名 丹沢山地・箱根山地へのアライグマ・タイワンリスの侵入状況把握手法の開発および実態把握のための調査の実施について				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県では、アライグマ防除実施計画を策定し、市町村を中心に捕獲が進められているが、分布域は拡大する傾向にあり、また、生息密度が低いと考えられる県西部・北部では目撃情報そのものが集まりにくいために、丹沢山地や箱根山地への侵入や分布拡大の実態が不明な状態である。 丹沢大山自然再生計画では、外来種の除去を特定課題の一つとしており、箱根山地においても外来種であるアライグマ・タイワンリスの侵入防止は重要な課題と考えられることから、目撃情報を効率的に収集する等、丹沢山地や箱根山地への侵入状況を迅速に把握する手法の開発と現状把握のための調査実施を要望する。				
解決希望年限		①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
対応を希望する研究機関名		①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター		
備 考				

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 本要望に関しては必要性は認識しているが、様々な制約から当面課題設定は見送り、調査協力、調査技術や関連調査における情報提供などによる対応としたい。 なお、調査技術に関しては、e-Tanzawaに搭載した動物目撃情報システムの運用や、自動撮影カメラによる生息情報の収集手法などについて調査指導が可能である。また、森林環境調査や水源林モニタリング調査などにおける自動撮影カメラによる動物生息状況調査を行っており、特定動物の生息に関する情報提供が可能である。ちなみに、アライグマは、昨年時点で相模湖町貝沢で、清川村大洞沢、山北町中川ではされていない。			
解決予定年限		①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
備 考			